

市民委員会資料⑤

1 平成26年第1回定例会提出予定議案の説明

(6) 議案第24号 川崎市シンフォニーホールの指定管理者の指定について

参考資料 議案第24号参考資料

市民・こども局

(平成26年2月13日)

議案第24号参考資料

1 管理を行わせる公の施設の概要

(1) 名称	川崎シンフォニーホール
(2) 所在地	川崎市幸区大宮町1310番地
(3) 設置条例	川崎シンフォニーホール条例
(4) 設置目的	川崎シンフォニーホールは、音楽の鑑賞の機会の提供、音楽活動の振興等を図り、もって市民文化の発展に寄与するため設置するものである。
(5) 施設の事業内容	ア 音楽の鑑賞会を開催すること。 イ 音楽の鑑賞、音楽活動等のための施設及び設備を利用に供すること。 ウ 音楽活動の支援を行うこと。 エ その他設置目的を達成するために必要な事業に関すること。
(6) 現在の管理者	川崎市文化財団グループ(代表者:公益財団法人川崎市文化財団、構成員:株式会社シグマコミュニケーションズ、サントリーパブリシティサービス株式会社)
(7) 現在の管理運営費	717,867千円 (平成20年度～22年度の指定管理料の平均年額を算定。23年度、24年度は、震災の影響により音楽ホールが使用できないため除外。指定期間は平成20年4月1日～27年3月31日。)

2 指定管理者となる団体の概要

名称	川崎市文化財団グループ (代表者:公益財団法人川崎市文化財団) (構成員:株式会社シグマコミュニケーションズ) (構成員:サントリーパブリシティサービス株式会社)
所在地	川崎市川崎区駅前本町12番地1

(1) 代表者

名称	公益財団法人川崎市文化財団
所在地	川崎市川崎区駅前本町12番地1
代表者名	理事長 北條 秀衛
設立年月	平成24年4月1日(旧財団の設立年月日 昭和60年3月23日)
基本財産	3,000万円
職員数	35人
設立目的	市民の文化芸術活動の振興を図り、もって川崎市における文化芸術の創造を促進し、市民が生き生きと心豊かに暮らせるまちづくりに寄与することを目的とする。 この目的を達成するために、次の事業を行う。 ・文化芸術の創造及び発信 ・文化芸術活動の支援及び協働 ・文化芸術施設の管理運営 ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業 この事業については、神奈川県において行うものとする。

事業概要 (24年度)	ア 文化振興事業 (ア) 文化情報事業の実施 (イ) 古典芸能普及事業の実施 (ウ) 歴史文化事業の実施 イ 芸術文化事業 (ア) 公演事業の実施 (イ) 美術展等の開催 (ウ) 芸術文化育成事業の実施 ウ 文化施設管理運営 エ 指定管理者事業 (ア) 川崎シンフォニーホール事業の実施 (イ) 川崎市アートセンター事業の実施
決算 (24年度)	経常収益 1,520,952,479円 経常費用 1,518,449,812円 当期経常増減額 2,502,667円

(2) 構成員

名称	株式会社シグマコミュニケーションズ
所在地	東京都品川区西五反田7丁目19番1号
代表者名	代表取締役社長 鈴木 利雄
設立年月	昭和61年4月1日
基本の額	1億円
職員数	430人
設立目的	次の事業を営むことを目的とする。 ・劇場・ホール・催事場・会議場及び文化施設の管理運営 ・放送・映像及び通信に関する設備の操作及び管理運営 ・放送番組・ビデオ及び各種映像の企画制作 ・放送・通信のメディアにおける情報コンテンツの企画制作 ・イベントの企画・制作・実施 ・舞台芸術の創造及び地域文化の振興に関する企画・開発・運営 ・放送機器・映像機器・電子通信機器及び舞台設備機器の設計・製造、設置工事及び保守管理並びに輸出入販売 ・放送・映像・通信及びコンピュータのエンジニアリング並びにソフト制作に関する業務 ・広告宣伝業務
事業概要 (24年度)	・劇場・ホール、会議場及び催事場の運営管理業務 ・放送設備・機器等の操作運用業務 ・デジタル放送・インターネット放送等のデジタルコンテンツ制作 ・博覧会・展示会及び文化・音楽芸能、スポーツ・レクリエーション・式典・コンベンション等のイベント事業の企画制作 ・放送及び通信設備のシステム設計、機器の設置工事及び保守管理 他
決算 (24年度)	経常利益 141,908,000円 当期純利益 83,704,000円

(3) 構成員

名 称	サントリーパブリシティサービス株式会社						
所 在 地	東京都千代田区永田町2丁目13番5号						
代表者名	代表取締役 野々村 孝志						
設立年月	昭和58年3月1日						
基本の額	1億円						
職 員 数	2,328人						
設立目的	次の事業を営むことを目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告・広報業務の企画、代理、請負 ・ ホール・博物館・美術館・図書館・会議場の企画、運営、管理 ・ ホール・博物館・美術館・図書館・会議場の案内業務及びそれに関するコンサルタント業務 ・ パーティ・イベントの企画、運営 ・ ビジネスマナー・接遇の教育、食物・酒類に関するセミナーの運営 ・ コールセンター（電話による案内、チケット販売、取次等の業務）の企画、運営 						
事業概要 (24年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ サントリーグループ各社の広報・マーケティング支援業務 ・ コンサートホール・美術館など文化施設の管理運営・サービス業務 ・ 民間商業施設でのインフォメーション等、サービス業務および企業向け研修 ・ コールセンターの運営 他 						
決 算 (24年度)	<table> <tr> <td>経常利益</td> <td>245,400,000円</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>78,000円</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>128,425,000円</td> </tr> </table>	経常利益	245,400,000円	特別損失	78,000円	当期純利益	128,425,000円
経常利益	245,400,000円						
特別損失	78,000円						
当期純利益	128,425,000円						

3 指定期間

平成27年4月1日から平成32年3月31日まで

4 選定結果

別紙のとおり

5 事業計画

項 目	事業内容
事業に関する業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある街プログラム、フェスタサマーミュージア、音楽教育プログラム、地域交流プログラム、多彩なジャンルの魅力プログラム、芸術創造型プログラム、人材育成プログラム ・ フランチャイズオーケストラとの連携、音楽活動の支援、地域、周辺施設及び他文化施設との連携等
施設の運営に関する業務	施設の貸館事業、音楽工房の運営、利用促進及びサービス向上に向けた取組み
舞台の管理に関する業務	一流アーティストが創り出す最高の舞台をサポート、市民やアマチュア団体には最高のホスピタリティで「晴れの舞台づくり」を支援、安全な舞台管理運営
施設等の維持管理に関する業務	効率的・効果的かつ適正なコストの維持管理による良好な施設機能の確保、安全性の確保、環境への配慮、ホール・楽器の維持管理

その他川崎シンフォニー ホールの管理に関する業 務	ミューザ川崎管理組合に関する業務、利用状況・入場者数な どの調査統計に関する業務
指定管理業務の実施組 織・体制	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人川崎市文化財団（事業企画及び制作、管理、広 報宣伝） ・株式会社シグマコミュニケーションズ（ホール運営管理、貸 館管理） ・サントリーパブリシティサービス株式会社（チケット販売、 友の会運営、ホール運営）

6 収支計画

（単位：千円）

項 目	金額（消費税及び地方消費税を含む。）					
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	合 計
収 入	1,199,344	1,201,946	1,204,608	1,206,995	1,209,621	6,022,514
指定管理料	729,174	729,363	729,409	729,359	729,346	3,646,651
利用料金	120,844	121,361	122,070	122,587	123,293	610,155
その他の収入	349,326	351,222	353,129	355,049	356,982	1,765,708
支 出	1,199,344	1,201,946	1,204,608	1,206,995	1,209,621	6,022,514

川崎シンフォニーホールの指定管理予定者の選定結果について

1 応募状況

説明会参加：2団体

応募団体：1団体

●川崎市文化財団グループ

(代表者：公益財団法人川崎市文化財団)

(構成員：株式会社シグマコミュニケーションズ)

(構成員：サントリーパブリシティサービス株式会社)

2 民間活用推進委員会委員

【学識経験者】 垣内 恵美子 (政策研究大学院大学教授)

【施設の管理運営に関して専門的知識を有する者】

中村 英二 ((公財) 神奈川芸術文化財団事務局長)

【財務の専門家】 新井 努 (公認会計士)

3 選定理由

民間活用推進委員会で選定された団体については、提案内容は仕様書に則ったもので、ホールの特性等を活かした実現性の高いものとなっている。また、これまでの運営実績等を踏まえ、安定的、継続的な施設運営が見込まれることなどから、当該団体を選定した。

(1) 市民文化の発展に寄与するための施設としてのホールの役割を担えること

ホールの設置目的や基本理念を踏まえ、これまでのノウハウと運営実績を十分に活用し、仕様書に沿った企画を提案した。公演事業は音楽ホールの特性等を活かしたものである。また、海外への情報発信を視野に入れた事業を提案している。

災害時等の危機管理対応についても各種マニュアルを備え、徹底強化を図る対策が講じられている。

サービス向上についても熟練のスタッフによる施設利用のサポートや川崎市民を中心としたレセプション採用などが提案されている。

(2) 事業の安定性・継続性の確保について

第二期までの実績を踏まえ、運営における各分野の人材確保について考え方が示されていた。ホールアドバイザー、専属オルガニスト、ステージマネージャーについても具体的な人名を提案している。また、増収に向けて、広報営業課の新設や東京交響楽団の利用枠の見直し等貸館利用促進の提案があった。

研修についてもレセプションや舞台管理を中心に考え方が示されている。

また、利用者ニーズの把握についてもアンケート結果を活かす仕組み作りについての提案がされている。

(3) 応募者自身の経営能力について

グループを構成する三団体とも、類似の文化芸術施設の運営について実績を有して

いる。また、三団体共、財政面について、5年間の指定管理業務が可能な経営基盤を備えている。

(4) 関係法令及び条例等の遵守に関すること

個人情報保護について方針が示されている。また、地球環境の保全に配慮した事業実施等、社会問題への貢献について取組が示されていた。

(5) 収支計画と管理経費縮減等について

収支計画については事業計画と整合が取れた妥当なものとなっている。また貸館の利用率を上げるための広報営業課の新設等、ホールスポンサーや友の会会員の拡大、補助金の獲得など外部資金の導入についての提案がされている。

4 審査結果 (※基準点540点以上)

選定基準	配点 (3人分計)	川崎市文化財団グループ
① 市民文化の発展に寄与するための施設としてのホールの役割を担えること	405	296
② 事業の安定性・継続性の確保について	120	74
③ 応募者自身の経営能力について	90	63
④ 関係法令及び条例等の遵守に関すること	60	44
⑤ 収支計画と管理経費縮減等について	225	144
実績評価点		29.7
合計	900	650.7

5 提案額

- 平成27年度 729, 174千円
- 平成28年度 729, 363千円
- 平成29年度 729, 409千円
- 平成30年度 729, 359千円
- 平成31年度 729, 346千円

合計 3, 646, 651千円